

郷土を愛する住民と共に
「ホッと」できる地域づくり
多世代交流を通じて次世代支援

高山市 高根地区民生委員協議会

高山市 高根町とは…

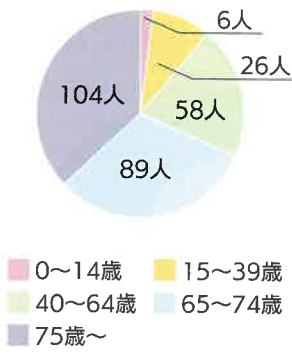
高山市高根町は長野県境に位置し、住民が住んでいる地区の標高は800m～1300m、過疎化も進み真冬はマイナス20度にもなる大変厳しい自然環境の町です。

高山市と当時の高根村の合併が行われた平成17年の人口は600人でしたが、現在は280名程まで減少しています。

この地域では6名の民生委員・児童委員が活動しています。日本の人口密度は344人/km²ですが高根町は1.3人/km²、というデータがあり活動範囲はとても広く訪問などに関する移動距離がとても長いのが現状です。

人口が少ないため、民生委員・児童委員には、いくつもの役割が

高根町年齢別人口



「たかね号」町内巡回

あり、多くの場面で頼りにされる存在です。委員活動の他に各々が他の役割を担い奮闘しています。

活動実践① 民生委員・児童委員

この地域は公共交通の空白地で「まちづくり協議会」が運行する公共交通空白地有償運送「たかね号」が町内を巡回しており、地域になくてはならない大切な移動手段です。

運転手として活動をしている民生委員・児童委員もいます。担当地区以外の住民の見守りもできるため業務の中、診療所を受診するために乗降される予定の人が自宅に倒れているところを発見し、いち早く関係機関に繋いだケースもありました。

活動実践② 主任児童委員

アイターン組の若い世代も住みやすい地域にしたいという町民の共通する思いを推進するために主任児童委員も活動しています。

ある委員は子育て真最中で、積極的に学校とも連携を取っています。若い女性リーダーとして頼りにされ、子育ての不安や悩みを一人で抱え込まないように子育てサロンを開催しています。

活動拠点として、冬期のみ開所する高齢者の集合住宅「のくとい館」(*飛騨方言で「あたたかい館」という意味)を年中使用できる場として社会福祉協議会と協働し交流の拠点として、料理教室やスイーツ作り、ハロウィン・クリスマス会等も開催しています。



ふれあいサロン

他地域多世代交流…

十一地区(集落)がある高根町では、隣接する地区も離れており他地区との交流が困難な地域となっています。

そこで各地区の公民館を利用し

て、住民が開催する事業に積極的に民生委員・児童委員が関わっています。

社会福祉協議会から介護予防担当職員を派遣していただき、介護予防教室(健康体操、コグニサイズ、フレール予防など)に取り組みんでいます。また、多世代交流を目的とする餅つきのお会やお茶会、サロンなどを催し、普段なかなか会えない他地域の人や違う世代の人たちの交流などを積極的に展開しています。

助け合い 支え合い

山間地域だからこそ地域に対する愛着を感じ取ることができます。地域の皆さんにより「助け合い、支え合い」が自然にできる地域柄は自慢でき、顔の見える関係の中で活動にも力が入ります。

地域づくりの大切な担い手としてこれからも、住民が地域で心ゆたかに安心して生活ができるよう住民のみなさんに寄り添いながら活動を続けていきます。



「餅つき大会」多世代交流